

第3回

- 日時・場所 令和2年2月13日（木）午後7時～午後8時45分 西市民センター
- 参加者数 39人
- 講師 福岡テンジン大学 岩永 真一（代表）
- テーマ 「人が集まるコミュニティの作り方」

第3回の流れ

① チェックイン→②話題提供→③対話→④振り返り

① チェックイン

→「福岡テンジン大学」のビジョンは、「福岡を世界でいちばん魅力的なまちにする」こと。
そのためにやったことは、「(ボランティアスタッフ・授業の企画の) 仕組み化」。

② 話題提供

→広がるコミュニティと広がらないコミュニティの違いについて。

「広がらないコミュニティ」

- ワクワクがない
- メンバーの入れ替わりがない
- メンバーが消費者のまま
- 構成員の同質性が高い
- 入るハードルが高すぎる
- リーダーが飽きている

「広がるコミュニティ」

- ワクワクを感じる
- 入り口が複数ある
- コミュニケーションがデザインされている
- 体験と言語化がある
- 役割がある
- 階段がある
- 社会性があるビジョンがある



講義中の岩永代表

③ 対話

→ファシリテーターとは

「言語能力より、非言語能力」

空間、色、ツール、BGM、声、リズム、表情、ジェスチャー、間の取り方を工夫する。

「認知能力より、非認知能力」

粘り強さ、協調性、自制心、観察力、共感力、疑問に思う力、感謝する力

→印象の良い人には何がある？

「メラビアンの法則」：言語情報 7%、聴覚情報 38%、視覚情報 55%

印象を決める要素は、見た目、声の割合が大きい。

→やってみよう！体験

どんな「場」が、良い対話がある「場」なのかを話し合うワークショップを実施。模造紙に、「良い対話がある場」の内容を書いた付箋を貼り付けながら、グループで話しあった。

→今回のワークショップで体験したこと

「場のデザインのスキル」：プロセス設計，アイスブレイク

「対人関係スキル」：傾聴と質問，非攻撃的自己主張

「構造化のスキル」：グラフィック化，フレームワーク

「合意形成のスキル」：意思決定手法，フィードバック

④ 振り返り

今回のワークショップで

What？「何が起きた」

So What？「そしてどう思った？」

Now What？「で、どうする？」

について各自考えた。



→第4回講座「誰もが持つリーダーシップとは」へ続く